

愛・誠・勇

福島市立福島第三小学校

平成31年度『学校だより』

第1号 H31, 4, 12

校長 佐藤 秀美

『新たな出会いが子ども育てる』

校長 佐藤 秀美

新たに42名の新入生を迎え、全校生337名（4月9日からは338名）で平成31年度がスタートしました。5月1日からは新しい元号「令和」となりますから、「平成」の最後の学期の始まりとなります。

私は一昨年度、本校の研究公開を参観させていただきました。それぞれの授業の中で見る子どもたちの真剣な姿に感動したことを覚えています。縁あって本年4月1日に校長としてこの伝統ある福島第三小学校に着任いたしました。私は「教育は未来を作る仕事」と信じています。雨の日も風の日も雪の日も学校にやってくる子どもたちに対し、「今日はこんなことが分かった」「ちょっとだけ昨日よりできるようになった」「明日はこれをがんばろう」といった「成長」という報酬を子どもたちに与え続けられる学校でありたいと考えています。もちろん、子どもですから叱られることだってあります。しかし、子どもが「同じ失敗はしないぞ」と思ったなら、それも立派な成長です。私たち教職員一同、1つのチームとして子どもたちの指導に当たってまいります。

本年度も学校だより『愛・誠・勇』をお届けします。この名称は、明治40年4月1日に制定された本校の校訓です。学校だより『愛・誠・勇』が、ご家庭と学校をつなぎ共に子どもたちを育む架け橋となれば幸いです。



【ちょっといいエピソード】～『愛・誠・勇』の姿～

- ・ 集団登校時、お母さんと離れ寂しくて泣いている1年生の手をそっとつないで優しく学校まで連れてくる上級生の姿
- ・ 避難訓練終了後、全校生が上履きを拭いて汚れた雑巾を、冷たい水で黙々と洗う最上級生の姿
- ・ 「心は形に現れる、形は心をつくる」～毎日、整然と並んでいる全校生の下足箱
- ・ 「福島第三小学校さんの子どもたちはあいさつが上手ですね。元気なあいさつをたくさんもらって、我々大人の方がしっかりしなければと思わされます」～学校に教材を納入する業者の方の声
- ・ 4月11日（木）季節外れの大雪が降った朝、子どもたちが登校しやすいようにと早朝から一生懸命雪かきをする教職員の姿

校長式辞より（抜粋）

【入学式】

（前略）今、季節は春です。たくさんの花が咲き始めました。校長先生は、皆さんの心の中にも二つの花を咲かせてほしいと思っています。

一つは、『がんばり』という花です。この花が心に咲いている子は、何でもがんばるので、いろいろなことができるようになります。

もう一つは『やさしさ』という花です。この花が心に咲いている子は、お友達がたくさんできます。はやく、この二つの花を心の中に大きく咲かせましょう。

【第1学期始業式】

（前略）福島第三小学校のみなさんに、「こんな子に育ててほしい」という目標をつくってきました。それは三つあります。

一つ目は、「すすんで学ぶ子ども」です。学校は、勉強をするところです。人から言われて勉強するのではなく、どうしてなんだろう、不思議だなあ、と思う心を大切にしながら、先生や友だちの話をよく聞いて、ねばり強く学習する子になりましょう。

二つ目は「思いやりのある子ども」です。命を大切に、だれに対しても思いやりのある優しい子

になってほしいと願っています。もし、みなさんの学級に、ひとりぼっちでいる人がいたら、そっと誘ってあげてください。失敗した人がいたら、冷やかしたり、責めたりしないで、そっと手を貸してあげましょう。

そして、三つ目は、「たくましい子ども」です。辛いことにもくじけずに、心も体も強くたくましい子になってほしいと思います。

次に、校長先生がみなさんに絶対守ってほしいことを、三つお話します。これまでの校長先生もお話ししてきた大切なことです。

一つ目は、「人のものを盗らない」ということ。二つ目は、「うそをつかない」ということ、三つ目は、「人の心や体を傷つけない」ということ……（要点のみ紹介・後略）

と、「絶対に守ってほしいこと」の話になった途端、全校生が、校長先生に注目し、頭をぴたりと止めて真剣に話を聞く「ひとみ輝く」姿が見られました。……子どもたちの心に響いている瞬間だと感じました。



〔体育館脇の桜（満開に雪）〕



・安心メールへの登録がまだの方は、
登録をお願いいたします。

